

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 14 日 (2022.9.14)

【公開番号】特開 2021-116833 (P2021-116833A)

【公開日】令和 3 年 8 月 10 日 (2021.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2021-036

【出願番号】特願 2020-9144 (P2020-9144)

【国際特許分類】

**F 1 6 C 33/46 (2006.01)**

**F 1 6 C 19/26 (2006.01)**

**F 1 6 C 33/34 (2006.01)**

10

【F I】

F 1 6 C 33/46

F 1 6 C 19/26

F 1 6 C 33/34

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 5 日 (2022.9.5)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同軸に配置される一対の円環部と、前記一対の円環部を軸方向で連結し、周方向に略等間隔に設けられる複数の柱部と、周方向に互いに隣り合う前記柱部及び前記一対の円環部により囲まれて形成され、円筒ころを転動可能に保持するポケットと、を有するころ軸受用保持器であって、

30

前記ポケットの軸方向端面であるポケット端面は、第 1 曲率半径  $R_1$  の凹円弧形状に形成され、

前記ポケット端面の周方向端と前記柱部の周方向側面の軸方向外端とを接続する連結面は、第 2 曲率半径  $R_2$  の凹円弧形状に形成され、

前記第 1 曲率半径  $R_1$  及び前記第 2 曲率半径  $R_2$  は、 $R_1 > R_2$  の関係を満たすように設定された

ころ軸受用保持器。

【請求項 2】

前記第 1 曲率半径  $R_1$  は、1 mm ~ 10 mm の範囲に設定される

請求項 1 に記載のころ軸受用保持器。

40

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のころ軸受用保持器と、複数の前記円筒ころと、を備えるころ軸受であって、

前記円筒ころの軸方向両端面である一対のころ端面は、曲率半径  $R_a$  の凸球面形状にそれぞれ形成され、

前記第 1 曲率半径  $R_1$  及び前記ころ端面の曲率半径  $R_a$  は、 $1 \leq R_1 / R_a$

$1 \leq 7$  の関係を満たすように設定される、ころ軸受。

50